

私たちの力

学校でいじめを未然に防止する!

これは、^{チーム}組織の共通認識による体制づくりを通して、いじめの未然防止を目指す一つの提案です。



いじめ未然防止 =

いじめ認識アンケート 事例ワーク チーム
(実態調査+校内研修) × 組織

令和2年度
センター研究発表
中間報告

いじめの組織的な未然防止に関する研究

～「いじめ」に対する認識についてのアンケートによる実態調査～

URL : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokyoiku-c/r2ijime-research.html>



※校内研修（事例ワーク）は令和4年4月に報告する予定です

令和3年4月 愛知県総合教育センター

いじめ認識アンケート－実態調査から活用まで－



調査

《ここがポイント》

- アンケート用紙はダウンロード可！
↓研究紀要(目次)ページにPDFを掲載
※小、中、高のそれぞれの校種について児童生徒用と教員用を用意
※直接記入用とマークカード用の2種類から選択可(児童用は直接記入のみ)

－ 特長 －

- ①基本設問は、いじめの様態9分類(→)で各三つの行為を例示した27問
- ②「いじめ」に対する認識(どのような行為を「いじめ」と捉えるか)を調査
- ③児童生徒と教員の双方を対象とし、両者の認識の傾向と相違(ずれ)を把握

《いじめの様態9分類》



分析

《ここがポイント》

- アンケート結果の集計は、専用のエクセル版フォームに入力するだけ！
↓すぐに結果シートを出力できます。
※マークシートを使えば、処理したデータをコピー＆ペーストで完了
※フォームは小学校(児童)用と中・高(生徒)用の2種類を用意
※フォーム希望は《問い合わせ》参照

－ 特長 －

- 得られるデータの様式は次のとおり！
- ①児童生徒・教員間比較(→)
※サンプルシートは中・高用フォームを使用
- ②対象別 ③学年・男女別

《アンケート集計結果シート》

～児童生徒・教員間比較(サンプル)～

調査対象の基礎データ	
①教員の職歴	割合 (円グラフ)
②教員の性別	
③生徒の学年	
④生徒の性別	
⑤アンケートの回収数	
⑥回答の選択肢	
1 「いじめ」と感じない	
2 どちらかといえば「いじめ」と感じない	
3 どちらかといえば「いじめ」と感じる	
4 「いじめ」と感じる	
⑦いじめの様態分類	
⑧アンケートの設問番号	
⑨質問項目	
⑩比較グラフ(↓拡大)	

グラフの見方 [(左側)暗色: (右側)明色:
「いじめ」と感じない 「いじめ」と感じる

対象	50%
生徒	
教員	

《ここがポイント》

- 集計結果シートを基に、「いじめ」と捉えられにくい行為や児童生徒と教員の認識に差がある行為を把握し、その対策について組織で話し合うことで、実態を踏まえた共通認識をつくりあげる。

↓共通理解の下、組織の一元的な指導・支援体制をつくり、安心・安全な学校環境を目指す。

－ 活用実践例 － ※研究紀要から閲覧できます

- ①現職研修(小及び中の2事例)、②職員会議(高の2事例)



活用

【アンケート集計用フォーム】

《問い合わせ》

- ①所属(学校名) ②氏名・担当
 - ③連絡先(電話及びメール)を記載し、下記にメールしてください。
- 担当者から連絡いたします。

【子ども支援課こころの支援グループ】

✉ soudan-kenkyu

@apec.aichi-c.ed.jp